



"To acknowledge the duty that accompanies every right"  
 Affiliated with the International Association of Y's Men's Clubs

## THE Y'S MEN'S CLUB OF OSAKA -

c/o YMCA INTERNATIONAL PROGRAM CENTER  
 Dojima Grand Bldg., 1-5-17  
 Dojima Kita-ku Osaka 530 JAPAN  
 PHONE (06)344-1717

# CENTENNIAL

Jul., 1983

II - 1

### THEME (1983~'84)

- I. P. REACHING OUT  
 "手を差し伸べよう"
- R. D. CREATIVE POWER  
 "創造への熱情"
- D. G. 兄弟の愛をもって
- P. ONWARD CENTENNIAL  
 PART II

#### 7月例会プログラム

とき 7月20日(水) 18:30~20:30  
 ところ YMCA国際・社会奉仕センター

司会 藤井 保男君

1. 開 会 山中 会長
2. ワイズソング 一 同
3. ゲスト紹介 山中 会長
4. 食前感謝「日々の糧を」-晩さん- 一 同
5. 83年テーマ・役員会報告 山中 会長
6. 特別ゲストあいさつ 横山中西部長
7. ゲストスピーチ「大阪21世紀計画について」  
 財団法人大阪21世紀協会理事 山本勇二郎氏
8. 誕生日のお祝い
9. ニコニコ・アワー
10. 委員長報告・YMCAニュース
11. 閉 会  
 ○例会当番(藤井・中川・桂・西出・三浦・山中)

#### ○中西部長公式訪問と大阪21世紀計画

83年度スタートの7月例会に横山慶昭中西部長の公式訪問を受けることになりました。又メインスピーチには、財団法人大阪21世紀協会常務理事の山本勇二郎氏をお迎えしてその計画の概要を聞かせていただきます。お楽しみに。

#### ○日本区大会での受賞

第38回日本区大会において、当クラブは「BF達成賞」ならびに「TCホームステイ協力賞」の二つを受賞。一年間の活動のあかしでもあり、更に一層の飛躍をしたいもの。

#### 食前感謝の歌

日々の糧を あたえたまう  
 恵のみ神は ほむべきかな

#### 誕生日おめでとう

安福又四郎 君 1921年7月15日  
 皆本 恵子 メネット 7月29日

#### 7月のことば

Where there is hatred,  
 let me sow love.  
 Where there is injury,  
 let me sow pardon.  
 Where there is doubt,  
 let me sow faith.  
 Where there is despair,  
 let me sow hope.  
 Where there is darkness,  
 let me sow light.  
 Where there is sadness,  
 let me sow joy.  
 (St. Francis)

憎しみのあるところ 愛情の種を播こう。  
 そこないのあるところ ゆるしの種をまこう。  
 疑いのあるところ 信頼の種をまこう。  
 絶望のあるところ 希望のたねをまこう。  
 暗黒のとばりのとざすところ 光の種をまこう。  
 悲しみのあるところ 喜びのたねを播こう  
 (聖フランシスのことば 兼松 正氏訳)

#### 6月例会 出席者 在籍会員 37名

	第1例会	第2例会	Make up	集 計
メ ン	18名	12名	2名	20名
出席率	48.65%			54.05%
メネット	5名			
コメント				
ゲスト	1名			
ヴィジター	2名			
合 計	26名	12名		

- ゲスト 平野裕一君(大阪北YMCAリーダー)
- ヴィジター 遊上義一君、遊上メネット
- メネット 鈴木、中村、森田、山田、山中
- ニコニコ 18,000円(累計166,780円)

#### ○BF'82年度最終成績

切手 12,560 ポイント(1人当り 349)  
 現金 106,000 \* ( \* 2,944)  
 合計 118,500 \* (達成率 110%)

これは中西部13クラブ中8位の成績でした。



IBCニュース

・ハワイ・ヌアヌクラブのL・ヒラナカ氏より谷川君宛の手紙では、大阪センテニアルとのIBC締結を、次のように書いて来ています。

Regarding our Brother club affiliation, I am pleased to convey that by a unanimous vote, the Nuuanu Club had adopted your club (Osaka Centennial Club) as a Brother Club. This event took place at a business meeting that was held on April 4th. Although I was not able to meet Dr. Nakamura and his bride Yuki, during their visit in Hawaii, Pete Ackman and two of our memberes had opportunities to meet the newly wedded couple.

・5月30日山中会長からヒラナカ氏に対し、IBCとしての第一信を送りました。その一部をご紹介します。

Dear Ysm:

It is my big delight to commence with my first writing to you as your Nuuanu Club and our Osaka Centennial Club are going to hold International Brother Club relationships.

On behalf of 35 club members and their family, I would like to express my sincerest greetings in Ysdom, to all the members of your club and their families.

—— 中 略 ——

Let me report to you briet deta of our club. We have so wonderful people as our club members in our club. Their age ranges from 20th to 70th, their professions varies, i.e., foreign trading, industrial products, retailing, construction, travel agent, taylor, advertising, goverment and social service, medical doctor, company executive and etc. I am proud also we have two attractive lady members, their professions are tax consultant and res-  
taurant.

—— 中 略 ——

This is only the first correspondence to you telling you about as very briefly, but hope this become initial ignition of close and strong relationship and partnership between you and us.

Gods richest blessings on you and your family, and your fellowclub members.

— < 鋭視野・ASIA > —

アジアの問いかけ、日本の課題 (その4)

東京女子大学学長 隈谷 三喜男氏

アイデンティティの確立

それではアジアは、どのようにそれに対応しようとしているのか。それを考える時に、まずナショナリズムの問題を理解していかななくてはならないと思います。アジアにはきびしい外圧があり、内部には自己を統一できないという問題をはらんでいる。日本人はアジアの人々が自己を統一できないという、そのことが理解できない。日本人は統一的な言語を使い単一民族ですから、そういうナショナルなアイデンティティを作りやすいわけです。ところが東南アジアの国々では、様々な言語や文化の違いなど問題が多くあって、どのようにナショナルアイデンティティを確立するかが大きな問題なわけです。また、それが確立できないと外圧に対抗できないということもあって、ナショナリズムを無理にでも作らないといけない。そこにかかなりの無理が生じるんですね。

つまり、アジアの場合、ナショナルアイデンティティを作るのが難しいので、難しければ難しだけ無理をしてこれを作ることとなります。その無理が外国人には不合理に見える。ですから、アジアの国々は常に外側に抑圧者をおいて、自らのナショナルアイデンティティを作らざるを得ないわけです。それは第三者からみれば、しばしばおかしいじゃないかと思われるのですが、彼らにとってみれば、やむを得ない選択で、そのことを私たちは理解していかななくてはならないと思うわけです。

(日本YMCA同盟国際協力委員会での特別講演録)

BFのバーノン・バイク夫妻来日

元国際BF事業主任のバーノン・バイク氏と夫人のミリアムさんは、台湾のアジア大会にBF代表として出席の後日本区の招きで、5月26日来日された。

日本区からBF代表として海外のワイズメンズクラブを訪問した人々で、同氏にお世話になった人は数多くに上る。関西地区は6月2日(木)に大阪南YMCAで歓迎会があり、センテニアルからは 柴田健君、谷川君夫妻が参加した。なお6月1日(水)は、谷川君宅にてホーム・ステイされた。同夫妻は6月4・5日の日本区大会に参加し、そのあと姫路クラブ篠原豊彦ワイズの結婚式にも参加し、6月8日離日された。





サラワク・ワークキャンプのレポートを聞く

6月例会には、大阪北YMCAのリーダーで第3回サラワク・ワークキャンプに参加された平野裕一君(大阪大学)をゲストに迎え、その体験報告を聞いた。

現地の記録写真のスライドを見ながら、説明を聞いたり質問をしたりで、形式ばらない報告会であったが、東マレーシア・インドの人々が厳しい自然環境や貧しい経済状況の中でも、意外に明るい表情で生活している様子を見て、理解を新たにしようとなつた。所が同君が最後の日にイバン人が口にしたことばを聞かされ、それが全く錯覚であったと思ひ知った次第。

「自分達が食べるだけのものを作ればそれで十分であった。所が近くの町にいろいろ着る物や欲しいものが並び出して、人々はそれを買うお金が欲しさにロングハウス(家族の住む所)を出て働きに行く。農業をしている私にはお金がない……」

「日本製の品物や工場が多く入って来ても、それが本当に自分達にプラスになっているのか疑問を持っている」

「あなた方が東南アジアを歩くとき私達の父や兄弟を殺したあの日本人が……」という眼で見られていることを忘れてはいけない」

知識として聞かされてはいたが、面と向って直接言われたことは衝撃であったと平野君は話を結んだ。

○'82年度の例会出席状況総括—EMC委員—  
'82年6月16日(水)の設立総会以来1ヶ年13ヶ月の例会出席の状況をまとめました。各個人の出席一覧表は別に各人宛お知らせします。新年度は各自が目標を立て、不都合は必ずメイキャップでカバーし責任を果して下さい。

【I】 例会出席率

- ① 毎月出席率の平均 69.3%
- ② 各人出席率の平均 69.6%

【II】 個人出席率(月単位)

- ① 13ヶ月 (100.0%) 9名
- ② 12ヶ月 (92.3%) 4名
- ③ 11ヶ月 (84.6%) 2名
- ④ 10ヶ月 (76.9%) 4名
- ⑤ 9ヶ月 (69.2%) 4名
- ⑥ 7ヶ月 (53.8%) 6名
- ⑦ 6ヶ月 (46.2%以下) 8名

【III】 20回以上出席者

- ① 26回皆出席 河野 田中
- ② 24回 出席 藤本 山田
- ③ 23回 " 鈴木 山中
- ④ 22回 " 安福
- ⑤ 21回 " 森
- ⑥ 20回 " 黒田

【IV】 メネット出席回数

- ① 15回出席 山中メネット
- ② 14回 鈴木メネット
- ③ 9回 黒田・森田メネット
- ④ 7回 山田メネット
- ⑤ 6回 中村メネット
- ⑥ 5回 谷川・皆本・山村メネット

谷川寛君、国際議会(IC)に出席

新しく国際議員(Reps)アジア代表の一人となった谷川君は、7月25日~29日にカナダのロンドンで開かれる国際議会(International Council)に出席のため7月16日に出発される。なお、途中米国のクラブ訪問も行い、米国地区大会(7月21日~23日)に参加する。帰国は7月31日の予定。ご活躍を祈る。

6月第2例会記録

- ① 日本区大会での他クラブ表彰に基づき、一年の活動を反省。新年度は各事業毎に具体的達成目標を設定する。
- ② 7月例会に横山中西部長の公式訪問を受ける。
- ③ 7月例会から食前感謝に「日々の糧を」を唱う。
- ④ クラブ会計、82年決算、83年度予算案の検討。
- ⑤ YMCA「安全の日」キャンペーンに協力寄附をする。
- ⑥ 8月納涼例会は昨年同様ローゼンタール肥後様にて。

第2回 センテナルゴルフコンペ

快晴に恵まれた5月25日(水)大阪クラブから遊上さん特別参加の佐々木寛成氏(大丸)を交えて、総勢6名により第2回センテナル・コンペが東条湖カントリークラブで開催された。

当日は、強風にあおられ山岳コース特有の谷越連続で苦戦をしたが、元気一杯1ラウンド・ハーフを廻った。お年とは思えない遊上さんのスウィング。パワーの河野・森両君。技術の長安君。各々持前を十分に発揮したが、スコアの方は今一つ芳しからず。全員から発表してくれるなど懇請されてはいるが、記録保存が悪くブルティンに載せておかないと永久に日の目を見ない恐れがあるので敢えて発表します。参加諸兄悪しからず。(山中記)

	スコア	グロス	ハンディ	ネット	順位
遊上	51 55 53	159	43.5	115.5	2
森	50 56 54	160	39.0	121	4
長安	45 44 52	141	19.5	121.5	5
佐々木	56 44 49	149	30.0	119	3
河野	49 58 49	156	33.0	123	6
山中	51 49 47	147	39.0	108	1

— YMCA ニュース —

▽今年の世界コミュニケーション年協賛事業として関西を中心に活動している民間交流団体が来る7月13日(水)大阪商工会議所で民際フォーラムを開催いたしますが、当国際、社会奉仕センターも実行委員に加わり準備を進めています。また7月15日、16日には大阪ターミナルビル15階で民際フェスティバルが開かれますが、その際に大阪YMCAの奉仕活動を紹介しながら協力会員の募集を行う予定です。是非ご来場下さい。

▽6月例会の卓話で平野君が話しましたように、この度サラワク・マレーシア交流会が生まれました。これによりマレーシアとの交流が一層深まることでしょう。

▽数年前から中国のYMCAが9ヶ所で開催されていますが、来る7月9日に上海Y羅・武漢Y陳両総主事が来阪いたしますので講演会と懇談会を開きます。



My Private Life 24

松崎滋雄君

A 1. 「マイ・ファミリー」

(イ) 娘2人。長女は私の親友の二男で、八代目の医者をしていられる髭もぢゃ長身の男に奪われ、田舎住い。

次女は昨年甲南女子大を卒業。目下結婚相手募集中。小林聖心で小・中・高、大学は甲南女子と男と無縁の学歴。親父の心配は絶えない。スポーツウーマン。洋裁にはほとんど病氣。23才。165 ㎝、55 ㎏

(ロ) 長女に昨夏男子誕生。古諺「目に入れても痛くない」

(ハ) 奥さん。熟年(本人は中年と呼ばれる方がよさそう)で、少々肥り気味なのが本人の不服。スリムな小生にとっては別に気にならない。

A 2. 「マイ・ホビー」

油絵。西宮大谷記念美術館附属の阪神アートアカデミで、河野通紀先生(行動美術会員)のご指導を受けています。別に「玄の会」のメンバーとしてグループ展などを楽しんでいます。苦しんでいますというのが本音。

A 3. 「マイ・タレント」

自動車運転歴30年。ブロークイングリッシュ45年、他に特記するものなし。

A 4. 「マイ・コレクション」

自慢するほどの珍品なく、秘蔵するほどの逸品なし。

A 5. 「マイ・ワイズダム」

入会以来欠席がち。特に昨秋以来肝臓の調子が悪く、昨暮成人病センターに約1ヶ月入院。退院後、医師の指示通り禁酒禁煙静養に努め漸く精気が出てきた模様。食後2時間程の横臥を命ぜられているので、夕方からの諸会合は出来る限り欠礼している。例会出席もならず、ワイズダムの精髓に触れる機会なく無為に過しております。全ては健康回復後に期待しています。会員諸兄の御寛恕を。

A 6. 「メネットからの証言」

医者と言いつけも、私の言いつけもよく聞いております。……ハイノ! (メンの想像)

My Private Life 25

安福又四郎君

A 1. 「マイ・ファミリー」

子供は3人。すべて女である。

長女は31才で既に結婚後7年。孫が2人ある。長男は5才。次男は3才。主人の山田恭久は三菱商事を退職して我が安福又四郎商店、大黒正宗に入社取締役として活躍している。

先般私宅の直ぐ北側に新築し居住している。孫は殆んど本宅に遊びに来ている。

次女は26才。ご存事ワイズメンの大野と結婚し、それと同時に三菱商事を退職。大野は父親の不動産業或住宅及び学生海外旅行のあっせん等何でも屋でいつもいそがしいそがしと遅刻常習者である。昨年長女を出産し由美子という。ようやく子供らしい表情が出て来た。現在六甲山のトンネルを越えたカラトに居住している。

三女は恭子といふ、今甲南女子大の4年生になる。一番の秀才であるが東大を受けるのは止めにした。

最後に我が妻、節子は当年52才で豊中桜井谷の出身。麻雀が趣味。いつも私の娘が後妻の様に若く見ると自慢している。昨年より健康を害し手術4度、「がん」ノイローゼである。染物、ししゅう等のけい古等多趣味でしょっちゅう家をあけている。

A 2. 3. 「マイ・ホビー」「マイ・タレント」

学生時代は今よりはるかにスマートで48キロ程しかなく胃腸が弱かったので、スポーツはやらす運動神経もさっぱり。ゴルフのけい古などやりかけたが、あまり「ぶさいく」なので妻から絶対にするなど厳禁された。ラジオいじりが好きで、戦時中も長いアンテナを張り中波で上海あたりの英語放送を聴いていた。遂に物足りなくなり国法を犯して短波コンバーターを設置、特高や憲兵の目をおそれつゝサンフランシスコKGEIやBBC、重慶のXGOY等をひそかに聴取、日米開戦前夜もルーズベルト大統領より天皇陛下に太平洋の平和維持に関する親書が送られた事をキャッチしていた。戦後も各国の短波放送は勿論、各種の航空機通信、警察無線、消防無線、船舶通信等の受信や、アマチュア無線HAMの免許を受けJH3UBSのコールサインも貰っているが、多忙の為殆んどオンエアしていない。現在はひまがあればFEN東京の英語放送を聞いている。何の恐れもなしに各種の放送が聞ける平和は本当に有難いとしみじみ思う。

A 4. 「マイ・コレクション」

わが家は戦災と失火に二度遇い自慢の品物は何も無い。

A 5. 「マイ・ワイズダム」

私はどちらかという非社交的な方なのでワイズメンズクラブを通じて多くの異なった職業の方々とおつき合い出来る事は非常に有難いと思っている。

A 6. 「メネットからの証言」

家の外での行動はあまり解りませんが、家の内では最高のワンマンです。皆様からのご教育よろしく願いいたします。

主人は海外旅行が最大の楽しみで、私が入院をくり返すたびにそれに合わせて、南米やヨーロッパへ行きました。又映画に、バーにと忙しい人です。今夜はA、今夜はBと出かれますが、元気で過ぎて貰うならなによりと心から喜んで送り出しています。

腹黒い人という正反対の腹の中真白なんで、腹の中を全部みせて云いたいことを云う人ですが、悪気は全然ありませんので失礼の段はお許し頂いて、末永く御指導、御鞭撻下さいますようお願い申し上げます。





第38回 日本区大会報告

森田 誠

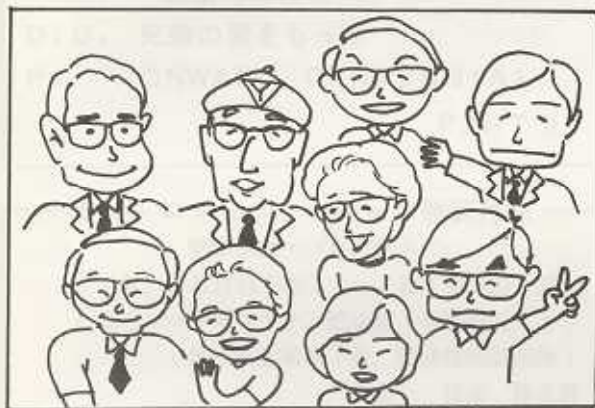
我が大阪センテニアルクラブがワイズメンズクラブ国際協会、日本区に発足加盟後、初の日本区大会が開催されました。ここに参加報告を致します。

☆時 1983年6月4日(土)ー6月5日(日)

☆場所 広島市公会堂、及び広島グランドホテル

☆ホストクラブ 広島ワイズメンズクラブ

☆参加者及び参加人数 北は北海道北見クラブから、南は沖縄クラブまで、全国の親愛なるワイズ同志及びアメリカ、台湾、韓国のワイズメン800余名  
センテニアル参加者 9名(メン6名、メネット3名)



緑と川の町、平和の町広島市に全国から参集したワイズメンの面々が一同に会し、ここ広島市公会堂に於て、国際協会第38回日本区大会の幕が、高らかなファンファーレの中、日本区理事松崎豊君の開会宣言、点鐘とともにきっておとされました。公会堂を埋める全員のワイズソング大合唱により有意義な初日のプログラムの開始です。

☆開会式 13:00~

- 聖書朗読 祈禱 森本君(鳥取クラブ)
- メモリアルタイム 日本区監事 佐藤君
- バナーセレモニー&クラブ紹介 山野上M(広島クラブ)
- 開会のあいさつ 日本区理事 松崎君

バナーセレモニーでは、我々も全国の仲間に対し、山中会長、バナーを中心にセンテニアルここにありと元気なアピールをいたしました。

☆記念講演「教育の根本」小塩 節氏 13:50~

クリスチャンとして、ドイツ文学者、大学教授、幼稚園園長、NHK TVドイツ語講師として活躍されている氏のお話は楽しく、豊かな話題は考えさせられることが多く、大会を印象づけるほど素晴らしいものでした。特に、トーマスマン夫人(97歳)との交流を通じての教育論展開は氏の教育に対する情熱がわき出て、感銘深いものでした。

☆日本区議事 司会 日本区事務局長 吉原君 14:50~

- 代議員会報告 日本区書記 山川君
- 会計報告 日本区会計 梶原君
- 日本区年次報告 松崎理事
- 部長報告 各部長 (中西部長 篠田君)
- 本年度チャータークラブ紹介
- 海外ゲスト紹介 谷川君(センテニアル)

台南高雄クラブの鄭三笑君は、何と自転車で沖縄から北海道まで全国のクラブを訪問されました。驚異的です!! 鈴木謙介君、美藤さんのHARRY M. BALLANTYNE受賞を記念して、素晴らしいお二人のポートレートが日本区より贈られました。



ディナーパーティでは会場を広島グランドホテルに移し盛大な宴が催されました。他クラブのメンバーと食事を共にし、全メンバーの交流がはかられました。

☆第2日 聖日礼拝 広島キリスト教会 植竹牧師

礼拝を守るY'Sの姿勢は、他の奉仕クラブにないものであり、多数の参加がありました。

☆役員引継式

- 理事引継 松崎豊君(姫路)→田中眞君(東京)
- RDホームクラブフラッグ引継、現役員へのことば(奈良信君)、次期役員の名指、紹介(次期理事田中君)
- 次期理事所信表明



(聖書に誓い、引継宣言をする理事)

☆開会式 11:00~

- お礼のあいさつ 大会委員長 山野上君(広島)
- ホストクラブへのお礼 全員より
- 次期日本区大会アピール 仙台クラブ  
"ワイズは北に向かって" 一杜の都仙台へー
- 讃美歌 405 閉会宣言 野村次々期理事

以上、有意義で楽しい2日間の大会は幕が閉じられました。最後に、広島美術館の青木繁展、原爆資料館、夜の流川など広島を満喫でき、メネットと共に参加出来た喜びで一杯です。広島クラブの皆さん、本当に御苦労様でした。来年の仙台大会には、全員で参加したいものです。